

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 効果検証シート

(単位:円)

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費 (実績額)	事業の効果検証
合計						69,112,924	
1	単	公共的空間安全・安心確保事業	①新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、公共施設に飛沫感染防止パネル等の対策用品を購入する。 ※基本的対処方針(平成3年8月25日変更)P.70における「(6)その他重要な留意事項 4)社会機能の維持 ①」のため、職員における感染を防ぐよう万全を尽くす。 ②コロナウイルス対策に係るパネル・消耗品等購入に係る経費 ③木曾岬町役場、ふれあいの里、こども園、保健センター、社会福祉施設、体育館、北部公民館、小学校、中学校	R3.7	R4.3	6,105,167	公共施設において飛沫感染防止パネル等を設置することで、来庁者及び職員の感染防止・感染拡大防止に繋がった。
2	単	図書館パワーアップ事業	①町立図書館の蔵書数を増やすことで利用者が在宅時間を有意義に過ごし外出抑制を図る。 ②図書館の蔵書数を増やすための書籍購入に係る経費等 ③図書館	R3.6	R4.3	3,513,109	町立図書館の蔵書数を増やしたことで、利用者の在宅時間を有意義に過ごしていただき、外出抑制を図ることができた。
3	単	行政IT化事業	①庁舎で使用中の既存端末について、行政IT化に向けた機能強化として端末の更新を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「新しい生活様式」を目指すため、行政手続きにおける電子処理化の実現に向けた環境整備を実施するとともに、Web会議に対応した端末を購入する。 ※基本的対処方針(平成3年8月25日変更)P.70における「(6)その他重要な留意事項 4)社会機能の維持 ①」のため、職員における感染拡大を防止する観点から、テレビ会議・テレワーク環境構築を目指す。 ②既存端末の更新に係る経費 ③木曾岬町役場	R3.6	R4.3	27,208,566	PCの更新等をしたことで、行政IT化に向けた機能強化を図ることができた。
4	単	防災活動支援事業	①避難所での衛生環境を保つために、消毒薬や段ボールベッド、間仕切り版など感染拡大防止対策に必要な備蓄品等を購入する。 ②避難所での感染症拡大防止対策に必要な備蓄品等購入に係る経費 ③指定避難所14箇所他	R3.6	R3.8	2,583,007	避難所運営に必要なパーティション等を購入したことで、避難所の開設時における感染対策が可能となった。
5	単	木曾岬町新型コロナウイルス感染症予防対策補助金交付事業	①感染症の拡大を阻止するため、購入した感染症対策用品に対して補助する。 ②感染症拡大防止対策に必要なマスク等購入に対して補助する経費 ③町民 2,535世帯	R3.6	R4.3	4,366,297	マスク等の感染症対策用品購入に対して補助金を交付したことで、感染防止・感染拡大防止に繋がった。

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費(実績額)	事業の効果検証
6	単	保健センター内装改修工事	①集団接種を行う会場について、感染対策機能を向上させるため、改修工事を行う。 ②感染防止機能を向上させるために必要な内装改修、備品購入等経費 ・感染を防ぐため、床やソファ等表面を布製からビニール製等に変更し消毒を行う。 ・カーテン等布製品は抗ウイルス機能を有したものに交換するとともに、便所や水栓は飛沫、接触を防ぐため洋式化、自動水栓化を行う。 ・また、プロジェクター等により予防接種後の待合時に映像を投影し、感染対策啓発おこなう。 ③保健センター	R3.9	R4.3	8,200,630	集団接種を行う会場となる保健センターの内装等を改修したことで、感染防止機能が向上し、感染リスクの低減を図ることができた。
8	単	ペーパーレス会議システム	①町議会におけるペーパーレス会議システムの構築を行う。 ※基本的対処方針(平成3年8月25日変更)P.70における「(6)その他重要な留意事項 4)社会機能の維持 ①」のため、議会における感染拡大を防止する観点から、テレビ会議・テレワーク環境構築を目指す。 ②システム導入、タブレット端末の購入に係る経費 ③木曾岬町役場	R3.12	R4.3	4,822,950	ペーパーレス会議システムを導入したことで、非接触型の会議を進行することが可能となり、感染リスクの低減を図ることができた。
9	単	自宅療養者訪問看護支援事業	①新型コロナウイルスに感染した自宅療養者への訪問看護を拡充する。 ※基本的対処方針(平成3年8月25日変更)P.58における「(4)医療等 ①」のため、訪問看護において医療提供体制の拡充を目指す。 ②病院等に対する補助金交付等 ③桑名医師会	R3.9	R4.3	276,788	新型コロナウイルスに感染した自宅療養者への訪問看護を実施したことで、医療提供体制の拡充を図ることができた。
10	単	風力発電照明塔建設	①新型コロナ感染症等に対応した新たな災害対応スタイルの構築を目指すため、災害時において避難路の安全を確保する照明について、風力発電による照明塔を建設し、避難時の安全確保を行う。 ②風力発電照明塔建設 ③木曾岬町役場	R3.12	R4.3	5,555,000	風力発電照明塔を建設することで、新型コロナ感染症等に対応した新たな災害対応スタイルの構築を図ることができた。
11	単	空調・換気設備等改修事業	①3密対策を実施したより快適な空間の創造に向けて、施設の換気・冷暖房能力の改善を図る。 ②換気・冷暖房能力の改善に向けた工事等経費 ③対象施設 庁舎、中学校、小学校、公民館(各付帯施設含む)	R3.12	R4.3	3,938,644	公共施設の換気・冷暖房能力の改善をしたことで、適切な換気等による3密対策が可能となった。
12	単	郵便料金計器導入	①切手の貼付を廃止し、接触等に係る感染リスクを減らすとともに、業務改善を行う。 ②郵便料金計器導入に係る備品購入等経費 ③対象施設 庁舎	R4.1	R4.3	858,000	郵便料金計器を導入したことで、接触等に係る感染リスクの低減を図ることができた。
13	単	空調・換気設備等改修事業	①3密対策を実施したより快適な空間の創造に向けて、施設の換気・冷暖房能力の改善を図る。 ②換気・冷暖房能力の改善に向けた工事等経費 ③対象施設 公民館	R3.10	R3.11	19,036	公民館の換気・冷暖房能力の改善をしたことで、適切な換気等による3密対策が可能となった。

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期	総事業費 (実績額)	事業の効果検証
14	補	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①GIGAスクール構想実現に向け、付属備品を購入し事業の充実を図る。 ②映像投影に係る付属備品等の購入に係る経費 ③町内小・中学校	R3.12	R4.3	204,930	GIGAスクール構想の実現に向けて、通信関連機器等を購入したことで、コロナ過でも安心して学習ができる環境整備の促進が図られた。
15	補	疾病予防対策事業費等補助金	(予防接種法に基づく定期接種(ロタウイルスワクチン)に係るマイナンバー情報連携体制整備事業) ①コロナ禍において継続的な健康管理を促すため、関係機関と情報を共有することを目的に、定期接種(ロタウイルスワクチン)について、マイナンバー情報との連携を構築する。 ②予防接種情報をマイナンバーに連携する経費。 ③保健センター等 システム及び関連機器設置施設	R3.4	R3.6	1,460,800	予防接種情報について、マイナンバー情報との連携を構築することで、コロナ禍において継続的な健康管理を促すことができた。